



◎巻頭特集	巻頭
尚綱大学 文化言語学部のめざすもの	
美しき日本の女性	
「ことば」と「たしなみ」から	
平成18年度 尚綱公開講座	10
国際交流	11
【尚綱学園史】二つの「尚綱」の額(前)	12
平成17年度 決算報告	13
平成19年度 選考日程のお知らせ	17

尚綱大学 文化言語学部のめざすもの

美しき日本の女性

「ことば」と「たしなみ」から



現代の日本からは、長い歴史を通じて育まれてきた美しい日本語と、先人たちの独特の美意識や生活の知恵から生まれた素晴らしい文化が、急速に失われつつあるようです。

利益追求・効率優先の競争社会にあって、日本人のものの考え方にも反映し、その価値観や人生観が浅薄になり、常軌を逸した事件が相次ぐ傾向にあります。それはひいては『日本人の心』を失うことに等しいといえるのかもしれない。そこで、私たちは心に繋がる言葉と文化をきちんと見直すべきだと考えているのです。特に、家庭にあって女性が子供に語りかける「ことば」の大切さを再認識する必要があると思います。

今春、三十一年目を迎えた「文学部」は、「文化言語学部」として、新しい目標を掲げ、再出発することになりました。

明治二十二年の創立以来、「心の教育と生活の素養」を教育の中心に据えてきた本学は、女子学生の「心」を如実に映し出す「ことば(言語)」と「たしなみ(文化)」を根底から見直し、社会に歓迎され二十一世

紀にふさわしい、よき日本人・よき地球市民として修得すべき「言語」と「文化」を基礎とする学問に、専門的研究を積み重ねます。

そこで、①日本語・日本文化を正しく深く理解し、グローバルに発信できる論理的思考力と技術の習得、②美しい日本語を自在に駆使できる能力の養成、③「日本語」と「日本文化」を正しく理解するための東アジア(主に中国・韓国)中心の歴史的・比較文化的学習、④国際人として英語圏を中心とする欧米文化の理解と英語運用能力の修得の四点を共通基礎課題とし、その上に日本コース・書道コース・米英コース及び英語コミュニケーションコースの専門的知識と技能の習得を目指すことに致しました。

日本人の美しい心を映し出す「ことば」と「たしなみ」を身につけた女性には、おのずと高い品格が備わり、必ずや社会で活躍し、歓迎される人材となることでしょう。

今回、私たちは、これからの女性が学ぶべきこと、身につけるべきことについてじっくりと考えてみることにしました。